

農学部において取得できる教員免許状

※詳しくは『教員免許状取得の手引』を参照。

『教員免許状取得の手引』 <https://tiglon.jim.u-ryukyu.ac.jp/Portal/>

I. 農学部において取得できる教員免許状の種類

学 科	免 許 状 の 種 類	免 許 教 科
亜熱帯地域農学科	高等学校教諭一種免許状	農 業
亜熱帯農林環境科学科	高等学校教諭一種免許状	農 業
地域農業工学科	高等学校教諭一種免許状	農 業
亜熱帯生物資源科学科	高等学校教諭一種免許状	農 業

II. 免許状取得に必要な最低修得単位数

※ 基礎資格: 学士の学位を有すること

免 許 状 の 種 類	免 許 教 科	免許状取得に必要な科目及び最低取得単位数	備 考	
高等学校教諭一種免許状	農 業	教科に関する科目	20単位	教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目
		教職に関する科目	25単位	
		教科又は教職に関する科目	14単位	
		日本国憲法	2単位	
		体育	2単位	
		外国語コミュニケーション	2単位	
		情報機器の操作	2単位	

Ⅲ. 教員免許状取得のための各科目の対応表

1 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

学 部	学 科	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			備 考
		科 目	単位数	授 業 科 目	単 位 数		
					必修	選択	
農学部	亜熱帯地域農学科	日本国憲法	2	○ 憲法概論	2		
		体育	2	健康・スポーツ科学		2	この中から2単位必修
	運動・スポーツ科学演習				2		
	地域農業工学 亜熱帯生物資源科学科	外国語コミュニケーション	2	大学英語		4	これら14科目より2単位必修
				インテンシブドイツ語 I		4	
				ドイツ語入門 I		2	
				インテンシブフランス語 I		4	
				フランス語入門 I		2	
				インテンシブスペイン語 I		4	
				スペイン語入門 I		2	
				中国語基礎 I		4	
				朝鮮語基礎 I		4	
				インドネシア語基礎 I		4	
				タイ語基礎 I		4	
ロシア語入門 I					2		
ヴェトナム語基礎 I		4					
ラテン語入門 I		2					
	情報機器の操作	2	○ 情報科学演習	2			
合 計		8	単 位 以 上 修 得 す る こ と				

※ ○の科目は教員免許法上の必修科目

Ⅳ 教 職 に 関 す る 科 目

高等学校教諭一種免許(農業)

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目		単 位	必修選択の別	備 考
科目	各科目に含める必要事項	科目番号	科 目 名			
教職の意義等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職の意義及び教員の役割 ・ 教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む。) ・ 進路選択に資する各種機会の提供等 	全教111	教職入門	2	必修	
教育の基礎理論に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 	全教121	教育原理	2	必修	「教職入門」を履修済のこと
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) 	全教221	教育心理学	2	必修	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 	全教215 全教216	教育社会学 教育の社会史	2 2	必修 選択	
教育課程及び指導法に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程の意義及び編成の方法 	全教231	教育課程	1	必修	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科の指導法 	農共441 農共442	農業科教育法Ⅰ 農業科教育法Ⅱ	2 2	必修 選択	「教育原理」及び「教育心理学」を履修済みか履修中であること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別活動の指導法 	全教235	特別活動論	2	必修	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 	全教232	教育方法	1	必修	

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目		単 位	必修選択の別	備 考
科目	各科目に含める必要事項	科目番号	科 目 名			
生徒指導、 教育相談、 教育相談及び 進路指導等 に関する科目	・ 生徒指導の理論及び方法	全教241	生徒指導論(進路指導を含む)	2	必修	
	・ 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	全教242	教育相談	2	選必	1科目必修とする
		全教243	学校カウンセリング	2	〃	
・ 進路指導の理論及び方法						
教 育 実 習		全教100	教職指導	1	必修	
		全教301	学校教育実践指導 I	1	〃	「教職指導」を履修済のこと
		全教350	学校教育実践指導 II	1	〃	「学校教育実践指導 I」 を履修済のこと
		全教402	高等学校教育実習	2	〃	
教 職 実 践 演 習		農共444	教職実践演習	2	必修	他の教職課程科目を履修済みであること
合 計		高等学校一種 25単位以上				
※ 教職に関する科目と教科に関する科目の合計59単位以上						

注 意

- この表の中から必修・選択合わせて、高等学校一種25単位以上修得すること。
- 最低修得単位を超えて履修した「教職に関する科目」は、「教科又は教職に関する科目」として使用することができる。
- 教育実習について ※ 16頁を参照

V 教科に関する科目

亜熱帯地域農学科

免許教科 農業

免許の種類	免許法施行規則 に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目			備考
		授 業 科 目	単位数		
			必修	選択	
高一種免許	農業の関係科目	○食・農・環境概論	2		※教職に関する 科目と教科に 関する科目の 合計59単位以上 履修すること。
		基礎フィールド実習	1		
	農林経営経済学	2			
食農資源経済学	2				
植物開発学	2				
循環畜産学	2				
動植物人間関係学	2				
農産物流通学		2			
園芸学概論		2			
森林環境経済学		2			
森林政策学		2			
森林ツーリズム論		2			
農業政策学		2			
アグリビジネス論		2			
基礎遺伝学		2			
植物育種学		2			
熱帯果樹園芸学		2			
観賞植物園芸学		2			
種苗生産学		2			
熱帯草地学		2			
家畜行動管理学		2			
家畜福祉論		2			
家畜飼養栄養学		2			
家畜飼料学		2			
家畜環境管理学		2			
緑化修景施工論		2			
農業実践論		2			
家畜衛生学		2			
家畜微生物学		2			
国際森林・林業論		2			
作物栽培環境学		2			
	職業指導	○職業指導	2		
	合 計	高一種20単位以上を修得すること			
※○印の科目は教育職員免許法上の必修科目					

V 教科に関する科目

亜熱帯農林環境科学科

免許教科 農業

免許の種類	免許法施行規則 に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目			備考
		授 業 科 目	単位数		
			必修	選択	
高一種免許	農業の関係科目	○食・農・環境概論	2		※教職に関する 科目と教科に 関する科目の 合計59単位以上 履修すること。
		基礎フィールド実習	1		
		作物生理学	2		
		森林環境学	2		
		生態学・環境学	2		
		生物統計学	2		
		流域・森林保全学	2		
		保全生物学	2		
		植物病理学概論		2	
		土壌微生物学		2	
		熱帯植物病理学		2	
		植物線虫学		2	
		作物学		2	
		熱帯作物学		2	
		家畜繁殖学		2	
		家畜人工繁殖学		2	
		家畜育種学		2	
		動物遺伝学		2	
		家畜生理学		2	
		動物環境生理学		2	
		動物生体機構学		2	
野生動物管理学		2			
森林水文学		2			
森林植物学		2			
樹木生理・遺伝育種学		2			
造林学		2			
森林生態学		2			
応用昆虫学		2			
進化生態学		2			
基礎昆虫学		2			
食料生産と環境		2			
熱帯肥培管理論		2			
環境土壌学		2			
土壌環境科学		2			
	職業指導	○職業指導	2		
	合 計	高一種20単位以上を修得すること			
		※○印の科目は教育職員免許法上の必修科目			

V 教科に関する科目

地域農業工学科

免許教科 農業

免許の種類	免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目			備考
		授業科目	単位数		
			必修	選択	
高一種免許	農業の関係科目	○食・農・環境概論	2		※教職に関する科目と教科に関する科目の合計59単位以上履修すること。
		基礎フィールド実習	1		
		水利環境学	2		
		農村・農地環境概論	2		
		ポストハーベストテクノロジー	2		
		農業生産システム論	2		
		農村基盤施設学	2		
		測量学		2	
		水理学		2	
		水文・気象学		2	
		水資源工学		2	
		土の物理学		2	
		材料・コンクリート工学		2	
		施設工学		2	
		土地環境保全学		2	
		農村農地整備学		2	
		生物生産システム設計学		2	
		農業電気・電子工学概論		2	
		農業エネルギー工学		2	
		バイオマス工学		2	
		生物材料工学		2	
		生物資源プロセス工学		2	
		基礎生物生産システム設計学		2	
		農業システム工学		2	
		農業情報工学		2	
		環境情報学		2	
		技術者倫理		2	
		応用数学		2	
		応用力学		2	
		工学の力学		2	
	職業指導	○職業指導	2		
	合計	高一種20単位以上を修得すること			
		※○印の科目は教育職員免許法上の必修科目			

V 教科に関する科目

亜熱帯生物資源科学科

免許教科 農業

免許の種類	免許法施行規則 に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		備考	
		授 業 科 目	単位数		
			必修		選択
高一種免許	農業の関係科目	○食・農・環境概論	2		※教職に関する 科目と教科に 関する科目の 合計59単位以上 履修すること。
		基礎フィールド実習	1		
		亜熱帯生物資源科学実験Ⅰ	1		
		亜熱帯生物資源科学実験Ⅱ	1		
		亜熱帯生物資源科学実験Ⅲ	1		
		生物化学	2		
		遺伝子工学		2	
		分子生物学		2	
		食品科学		2	
		食品安全化学		2	
		生理活性物質学		2	
		薬理学		2	
		健康長寿科学		2	
		生物工学		2	
		糖鎖生命科学		2	
		天然物化学		2	
		菌類学		2	
		食品分析学		2	
		食品機能化学		2	
		食品衛生学			
		免疫・臨床化学		2	
		栄養生化学		2	
		栄養生理学		2	
		発酵化学		2	
		タンパク質工学		2	
		微生物機能学		2	
		食品生物工学		2	
		応用酵素学		2	
	職業指導	○職業指導	2		
	合 計	高一種20単位以上を修得すること			
		※○印の科目は教育職員免許法上の必修科目			

VI 高等教育実習について (H29年度実習日程による)

- 1 教育実習仮登録
3年次前学期(夏期休暇前)→掲示板に注意
- 2 教育実習校の内諾
3年次後学期(11月末)
※県外(沖縄以外)高校は2年次頃から県外の農業系高校に問い合わせて確認すること。
- 3 教育実習等の登録
4年前期履修登録→「教職指導」及び「学校教育実践研究Ⅰ」を履修済みのこと
並行して「学校教育実践研究Ⅱ」も登録。(掲示等に注意すること)
- 4 実施
県内：6月第1月曜日から2週間
県外：各県の高等学校の取扱いによる2週間
※学校の都合により変更がある。
- 5 平成20年度教育実習生より教育実習謝金等は本人負担となる
2週間実習、学生1人当たり 2,000円(※)

※実習先が沖縄県内の県立学校の場合は、実習期間中のコピー代、資料代等の実費相当分のみについて、現物負担となる。(平成24年度第2回沖縄県教員の資質向上連絡協議会より)